

熊本の農水産物・加工品の国内販路拡大に関する連携協定の締結について

1 協定締結について

熊本市では、首都圏など大消費地において、上質で豊富な熊本の農水産物とその加工品などの総合的なプロモーションを展開し、販路拡大支援に取り組んでいる。

このような取組を効果的に推進するため、集客力の高い小売・飲食店や幅広い販売網と、それらにつながる物流を備えた民間事業者と連携し、本市の農水産業者等に新たな販売機会を提供している。

今回、全国からの農水産物等を首都圏を中心に幅広く流通させている仲卸大手、東京促成青果株式会社(以下、「東京促成青果」と)、熊本の農水産物・加工品の国内販路拡大を目的として、新たに連携協定を締結する。

2 今後の具体的な取り組みについて(連携内容)

- (1) 首都圏における期間限定アンテナショップ事業の実施
- (2) 大口取引につながるバイヤー等の開拓と、熊本連携中枢都市圏の農漁業者、農業協同組合、食品製造業者等とのマッチング
- (3) 首都圏等での「くまもと食の魅力発信店(復興支援協力店)(※)」の開拓、「くまもと食の魅力発信店(復興支援協力店)」「同士の連携強化、「くまもと食の魅力発信店(復興支援協力店)」の販売促進のサポート
- (4) シェフと小学生による地域の生産者のほ場見学実施
- (5) 熊本の農業振興への支援

※東京促成青果株式会社は、今年度の「令和元年度(2019年度)復興支援トッププロモーション事業」の受託者として、企画運営を行っている。

※くまもと食の魅力発信店(復興支援協力店):熊本産品を取扱う飲食店、販売店、製造・加工事業者

3 調印式

- ・日時 令和元年(2019年)12月16日(月) 16:50~17:10
- ・会場 熊本市役所 本庁舎5階 庁議室(熊本市中央区手取本町1番1号)

4 調印式出席者

東京促成青果株式会社 代表取締役	大竹 康弘(おおたけ やすひろ)
熊本市 市長	大西 一史

5 東京促成青果株式会社について ※別紙1参照

・東京都築地に本社を構え、豊洲市場での荷受業務、大田市場及び大阪市場では仲卸業務も行いながら、産地や販路との連携による6次産業化や地域ブランド開発支援を行っている。

- ・日本最大の青果卸会社である東京青果株式会社の筆頭株主であり、全国の卸売会社とのネットワークを持つ。これを軸に幅広い業態・客層を保有していることが同社の強み。

※東京促成青果株式会社ホームページ

<https://www.tokyo-sokusei-seika.co.jp/index.html>

6 その他（一般社団法人 ChefooDo について） ※別紙2参照

- ・東京促成青果株式会社の代表取締役大竹康弘氏が代表理事を務める。
- ・日本の食文化及び食産業の更なる活性化に寄与するため、日本の食材や日本の食文化に対してこだわりのあるシェフを組織化。主に3つの活動を軸として、全国的に活動を行っている。
 - (1) みんなの笑顔を食べで応援（軸となる Do:食育の推進）
 - (2) 地域の食材、伝統的な食文化を応援（地域での Do:地域社会との連携）
 - (3) 励ましと絆作り（被災地での Do:被災地の応援）

(別紙 1)

会社概要
(東京促成青果株式会社)

1 社名

東京促成青果株式会社

2 設立

昭和 23 年 10 月

3 本社所在地

〒104-0045 東京都中央区築地 6-23-7

4 代表者

代表取締役社長 大竹康弘

5 事業内容

青果物及び加工品の受託販売及び購入販売

6 ホームページ

<https://www.tokyo-sokusei-seika.co.jp>

7 会社の特長

全国の農協や経済連から青果物の販売指定を持つ「荷受会社」であり、開設地(東京、大阪)から販売の認可を受けている、「仲卸」を兼業できる数少ない企業。

許認可事業として『新鮮で安心・安全な青果物』を『安定供給』できる体制が整っている。

豊洲市場での荷受業務、大田市場及び大阪市場では仲卸業務も行っており、その特長は下記のとおり。

- (1) 豊洲市場荷受であり、豊洲市場内に限らず市場外にも販路を確保していること
- (2) 大田市場内に自社ピッキング、袋詰め加工場(延べ 900 坪)を設置しており、量販店並び中食、外食向け需要に応じた商品供給が可能であること
- (3) 日本最大の青果卸会社である東京青果の筆頭株主であり、強力なパイプを活用した安定供給が可能であること
- (4) 全国に広がる自社契約産地からのこだわりの集荷網を有し、荷受指定産地が多数あること(高知県、愛知県、静岡県を中心とし、他 15 県以上)。

また、東京促成青果は築地に自社テストキッチンも運営しており、地域の農産物を活用して、確保している販路を見据えた商品開発のための各種試作品づくりも展開している。

このような産地や販路との連携による 6 次産業化や地域ブランド開発支援を強化している。

計画作付

(品種 / 時期 / 農法)

例：南瓜・枝豆の品種指定リレー

生産者が連作など実施しないように、指導し、品質、時期、農法などアドバイスし、定期的な収穫を維持し、各生産者から品種指定リレーを図り、安定供給を実施しています。



産地紹介

(同行・マッチング)

産地直送青果を流通させるのは、通常の取引がないと非常に困難です。弊社は、創業 70 年の経験を活かし、同行・マッチングにてサポートします。また、収穫不足の場合は、産地リレーにて流通のサポートも実施致します。



生産者指定

(顔見え供給)

創業以来の生産者との連携にて、お客様のご要望に合わせて、生産者指定や品種指定も全面的にサポート致します。また、収穫不足の場合は、産地リレーにて流通のサポートも実施致します。



全国配送網充実

- 指定センターへの産地直送 (ロット要相談)
- 東京～大阪間シャトル便 (関西産・四国産・九州産) の確立 (宅急便による品質劣化・コスト増の是正)



物流機能

- 店舗毎ピッキング (冷蔵温度帯)
- 1次加工⇒青果物トリミング・パック (ネット) 詰め作業・選別
- 出荷荷姿の調整 (DB・コンテナ・鉄コン等用途に合わせて)



(別紙2) 一般社団法人 ChefooDo(シェフド)概要

1 名称

一般社団法人 ChefooDo(シェフド)

2 設立

平成29年4月3日

3 所在地

住所 〒104-0045 東京都中央区築地3-13-5 丸促築地ビル 7F

4 役員等

代表理事	大竹 康弘(東京促成青果株式会社 代表取締役)
会長	片岡 護(イタリアン リストランテ アルポルト)
名誉顧問	服部 幸應(学校法人服部学園 服部栄養専門学校)
	坂井 宏行(ラ・ロシェル)
	陳 建一(赤坂四川飯店)

5 設立目的

日本の食材や日本の食文化に対してこだわりのあるシェフを組織化し、日本の食文化及び食産業の更なる活性化に寄与する。

6 活動方針

- ・食を通じて人の生活の質が向上するきっかけをつくる。
- ・食に関係する社会的な課題(食料自給率、フードロス、こどもの貧困など)の解決に貢献する。
- ・食をテーマにした活動、自治体や企業、個人を応援する。
- ・被災地の方の笑顔を増やす。

7 登録シェフ・料理人

メンバー一覧及び登録シェフのプロフィールはホームページ参照。

<https://www.chefoodo.jp>

8 目指すもの

食の力で「ココロ」をより豊かに育みたい。

家族や友だちと「分かち合う時間」であった食事が、今や「ひとつの作業」に変わっ

てしまっていることがあるようです。また、食に関する情報が溢れ、素直に食事を楽しむことが難しくなっているようにも思われます。そうした変化の中でも、私たちは食に対する「美味しい」「楽しい」「幸せ」「ごちそうさま」「ありがとう」といったシンプルな感情を大切にすることに大きな意味があるように感じており、栄養機能への関心を高めることはもちろんですが、食に対する素直な感性を育むことが「食育」に興味を持つ入口であると考えています。

料理には、特別な「想い」が詰まっています。そんな料理をきっかけに、もっと食事を大切にし、特別な想いの詰まっている食事が増え、それに感謝して食べることのできる「ココロ」を育むことで、食事を素直に楽しめる人を増やしたいと考えます。それにより日本の食文化をより活性化し、食を通じて「ココロ」がより豊かになることを ChefooDo は目指しています。

9 主な取組 (3つのDo)

(1) みんなの笑顔を支える食 (軸となるDo: 食育の推進)

基本的な食知識と食に対する「豊かな感性」を育むきっかけ作りを行い、食事を心から「楽しみ」「感謝」できるような取組を行います。



(2) 地域の食材、伝統的な食文化を支える (地域でのDo: 地域社会との連携)

世界からも注目される日本の食文化の継承や、地域ならではの食材・伝統的な食材を守るために、地域産業や自治体等と連携して取組を行います。



(3) 励ましと絆作り (被災地でのDo: 被災地の応援)

「食の力」を通じて、災害を受けた地域・人たちの元気と笑顔を増やしていく取組を行い、日本全国に「笑顔」の絆ができるような活動を行います。

